

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 平成29年度 要望・回答

伊豆箱根鉄道

I 利便性向上

1 駅施設等の整備

番号	要望事項	要望内容	回答
(1)	高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の整備等	<p>「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」に基づき、バリアフリー化について、整備を進めていただいているところですが、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」も踏まえ、誰もがより安全かつ自由に駅を利用できるよう、引き続き、次の事項について、特段に配慮されるよう要望いたします。</p> <p>また、県内市町村において、バリアフリー法に基づく基本構想が作成されている場合、当該基本構想に基づく公共交通機関特定事業計画の作成及び移動等円滑化にかかる事業を推進し、整備にあたっては、高齢者・障害者など駅利用者の意見を聞きながら進めるよう要望いたします。</p> <p>①転落防止 視覚障害者の転落防止対応として内方線付き点字ブロックの整備を要望いたします。</p> <p>②エレベーター、エスカレーター、AED等 AEDにつきまして、小田原駅・大雄山駅及び相模沼田駅に設置いただいておりますが、引き続きその他の主要駅への設置を要望いたします。また、AEDを的確に使用するための駅員等への普通救命講習受講の促進を要望いたします。</p> <p>井細田駅について、平成25年度から平成27年度の1日当たりの利用者数が3,000人以上であったため、バリアフリー化施設の早期整備を要望いたします。</p> <p>③案内表示 駅構内における音響音声案内や点字板等の設置の推進を要望いたします。</p> <p>④人員対応 ラッシュ時における改札・精算窓口の駅職員の増員やスロープ等利用時の駅職員による配慮のほか、利用者への心のバリアフリーの啓発、車内における情報提供の充実を要望いたします。</p>	<p>幣社沿線において、ご高齢のお客様対応のサービス向上が最も重要な課題と考えております。</p> <p>今後、ますます高齢化社会が進むことを考えると、バリアフリー化等による安全確保と利便性向上は必要で、沿線地域の生活路線として期待されている幣社としても努力しなければと考えております。</p> <p>また、整備にあたっては、県、市へのご協力をいただきながら推進していきたいと考えております。</p> <p>①転落防止につきましては、2018年度内に小田原駅1・2番線ホームに内方線付き点字ブロックを整備して参ります。</p> <p>②AED等につきましては、小田原駅・相模沼田駅・大雄山駅に設置しており、五百羅漢駅、和田河原駅へ導入に向けて検討して参ります。また、AEDの取扱いや普通救命講習の受講を積極的に行ってまいります。</p> <p>また、井細田駅においては、バリアフリー化施設(スロープの設置)を2020年度に整備していく予定です。</p> <p>③案内表示等の駅施設の整備に関しては、多言語表示を整備しているところではありますが、音響音声案内や点字版等の設置については今後、検討して参ります。</p> <p>④人員対応については、幣社では業務の効率化を進めるなか、駅職員の増員は困難な状況ではありますが、心のバリアフリーの啓発活動や車内での情報提供については、可能な限り取り組んで参ります。</p>

II その他

番号	要望事項	要望内容	回答
(1)	自転車等駐車場用地の確保及び駅周辺放置自転車対策への協力	鉄道利用者の利便性の向上、交通安全、さらに駅周辺の良好な環境づくりのため、今後とも自転車等駐車場用地を確保されるよう要望いたします。 また、引き続き、放置自転車対策の推進にご協力くださるよう要望いたします。	弊社では自転車を利用されているお客様が重要であると考えており、駅周辺の社有地は950台分の駐輪場用地として提供しております。 また、放置自転車や自転車盗難防止策として、有料化へ向けての対応も検討中でございます。今後も弊社は、放置自転車対策に協力して参ります。